

地域の気候変動リスクや脆弱性に基づく適応策検討

ワークショップ

…地域への脆弱性・リスクの特定や、
適応策の検討はどのように行えばいいのか？

このワークショップでは、

- 農業、熱中症、生態系等のテーマで、地域での影響のつながりや適応策を具体的に考えます。
- 本分野をリードするヨーロッパの研究機関のゲスト講演者より、研究や先進事例等もご紹介。
- 地域適応センター、自治体間での情報交換や、地域で適応策を検討・議論する手法の参考としても、ご活用下さい！

令和
元年

11月21日(木)

13:00～17:00
(開場12:30)

場所 TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター
(東京駅より徒歩4分)

プログラム

13:00～：挨拶・講演等

ゲスト講演者：Dr. Marc Zebisch

(Eurac Research 地球観測部門長)

※逐次通訳あり

14:30～：地域の適応策を検討するワークショップ

16:20～：各グループの議論を共有

17:00：閉会

※プログラムやワークショップで議論する分野は調整中で、
今後変更となる可能性があります。適宜休憩をはさみます。

参加費
無料

(要お申込み) 主な対象：約30名
・地域気候変動
適応センター
・自治体
・関連団体職員
・研究者等

ゲスト講演者紹介

Dr. Marc Zebisch

イタリアの研究機関Eurac Researchで
地球観測部門長を務める。

気候変動適応の影響連鎖を可視化する
インパクトチェーンに関するガイドライン

(Climate Risk Assessment for Ecosystem-based Adaptation
- A guidebook for planners and practitioners)の執筆者の一人



主催：国立環境研究所 福島支部 地域環境創生研究室

申し込み・問い合わせ

メールタイトルを「適応策検討ワークショップ申込」とし下記の内容をメールにてお知らせ下さい。

- 1: お名前
- 2: フリガナ
- 3: ご所属
- 4: 部署名(任意)
- 5: メールアドレス
- 6: 電話番号
7. ワorkshopで関心のある適応策の分野

(農業、生態系、熱中症、その他(災害、水資源など)、どの分野でも良い)

※頂いた個人情報は本イベントの参加登録・ご連絡等の運営目的のみに利用します。

※ワークショップの分野は、なるべくご希望に沿った分野で行いたいと思いますが、
希望分野の人数が少ない場合等はこちらに添えないこともございます。ご了承下さい。

国立環境研究所 福島支部
地域環境創生研究室

TEL: 0247-61-6572(平日9:00～17:00)
Email: sousei@nies.go.jp